

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月28日	
愛媛県知事 中村 時広 殿	
提出者	
住 所 愛媛県西条市大新田272番地	
氏 名 フジボウ愛媛株式会社 壬生川工場	
望月 吉見	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0898642350	
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	フジボウ愛媛株式会社 壬生川工場
事業場の所在地	愛媛県西条市大新田272番地
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	10,000百万円(出荷額)
③ 従業員数	353 名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥 排水処理で発生した汚泥を脱水後、処理業者へ収集・運搬・処分(埋立)を委託する。 ・廃プラスチック類 自社で圧縮梱包したものとバラの状態のものを、処理業者へ収集・運搬・処分を委託する。委託業者により、焼却処分、破碎・圧縮後再生燃料化、及び埋立て処分する。 ・ガラス屑 自社で発生したバラの状態のものを、処分業者へ収集・運搬・処分を委託する。蛍光灯は委託業者により、原燃料化として再利用する。 ・木屑 自社で発生した木製パレットやばらの状態のものを、処分業者へ収集・運搬・処分を委託する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥、ガラス屑、木くず	廃プラ、廃酸、廃アルカリ
	排出量	485 t	983 t
	(これまでに実施した取組) 汚泥については天日乾燥の効率化を継続して実施している。廃プラについては生産歩留向上及び圧縮梱包の継続による減容化を実施した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥、ガラス屑、木くず	廃プラ、廃酸、廃アルカリ
	排出量	882 t	1181 t
	(今後実施する予定の取組) 生産増加に伴い発生量の増加が見込まれるが、削減対策としては引き続き生産歩留向上、圧縮梱包による減容化を実施していく。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 保管場所における、表示の細分化を実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別に関する取り組みを継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥、ガラス屑、木くず	廃プラ、廃酸、廃アルカリ
	全処理委託量	882 t	1181 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	860 t	521 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	521 t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>熱回収業者との取引を継続し、また廃プラについては処分先企業へ優良認定処理業者の取得を働きかけると共に、新たに産業廃棄物処理業者を選定する際は、優良認定事業者を中心に検討を行う。 処理状況を視察し適切に処理されているか確認を実施する。</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

管理体制図

○廃棄物処理に関する管理体制

統括責任者	フジボウ愛媛株式会社壬生川工場 工場長	
廃棄物担当	施設部	
役割	経営システム委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理に関する検討 富士紡ホールディングス㈱環境対策委員会が決定した廃棄物管理に関する方針、目標及び重点施策に基づき、事業場としての方針、目標を決定し、廃棄物管理並びに教育の計画、実施、指導及びその結果の点検、調整を行う。 ・委員長－環境管理責任者・委員－関連部署部課長 ・事務局－施設部
	廃棄物管理統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理方針の確認、及び承認 ○工場の廃棄物管理規程の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項

○廃棄物管理組織

